# 地域と応援隊の協働で棚田再生

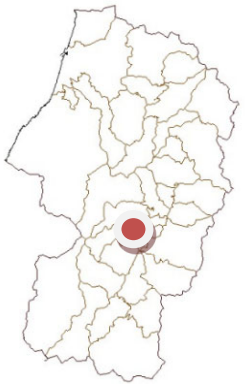
ー土砂崩壊防止機能ー

## グループ農夫（のうふ）の会、中（なか）地区有志の会

大蕨棚田の稲杭掛け風景

日本棚田百選認定の大蕨の棚田は町を代表する景観の一つだが、担い手の高齢化等で一時は耕作率３割となり、伝統の杭掛け風景が失われつつあった。そこで、大蕨棚田の再生を目的として、平成23年にボランティア団体のグループ農夫の会、地元農家でつくる中地区有志の会が結成され、棚田の元気再生に賛同する、サッカークラブチームのモンテディオ山形、行政機関等と共に協定を結び、棚田再生を目指して取組を始めた。

農作業体験や収穫祭、「棚田でピクニックコンサート」等の様々な取組を行っており、山形交響楽団等が応援隊として活動を支援することにより、棚田の再生面積、棚田米販売量も年々増えてきている。



山形県山辺（やまのべ）町

棚田米の田植え

大蕨棚田米、モンテ棚田米、
山響棚田米

**〔土砂崩壊防止、土壌浸食防止、洪水防止〕**

日本型直接支払制度も活用し、棚田のてっぺんまでの再生を目指して取り組み、耕作放棄されていた棚田を再生。農地として維持することで、耕地の亀裂なども早期に発見･補修できるため、土砂崩壊防止機能の向上に役立っているとともに、土壌浸食を防ぎ、雨水を貯留することによる下流域の洪水防止にもつながっている。

**〔景観の保全〕**

協定組織と応援隊の人々の協働で、棚田百選、指定棚田地域に選ばれた大蕨の棚田の景観を保全している。

**〔地域社会の振興〕**

田植え・稲刈り・杭掛けイベント、収穫祭や雪中棚田サッカー大会、山形交響楽団とコラボした「棚田でピクニックコンサート」等の様々な取組を実施したところ、イベント参加者も増加し、交流も活発になってきている。

また、再生した棚田で作った米を「山形県大蕨棚田米」、「モンテ棚田米」、「山響棚田米」として販売し、その売上金で棚田再生の活動費をまかなっている。　【令和２年度作成】

「棚田でピクニックコンサート」

「雪中棚田サッカー大会」

東北 13

グループ農夫の会
https://www.group-nofunokai.jp/index.html